喜志西小だより



令和８年度　　第８号
令和８年１０月３０日
富田林市立喜志西小学校

日頃の行動を見つめ直して～児童会からのメッセージ～

楠 浩子

児童会メンバーが「いじめをなくすために」全校児童に集会で呼びかけました。



日常に起こり得る場面です。回答も様々。「え、これもいじめ？」子どもたちがざわつきます。判断基準は相手の気持ちです。

（代表の感想から抜粋）

- 少しでも相手が嫌だと思ったらいじめになるんだ
- 遊びのつもり、からかっただけでもそれはいじめだと思う
- 自覚無しに相手を傷つけないよう考えてから話してほしい
- 考えて行動することが大切

代表の真っ直ぐなメッセージを、真剣に受け取る様子の子どもたちでした。身のまわりの出来事一つひとつにつなげられるよう育ってほしいと思います。

さていよいよ運動会。今年はインフルエンザや天候不良に悩まされましたが今できる精一杯をお届けしたいと準備しております。キラキラのポンポンと幼顔が輝く1、2年生。流行りのダンスを自分の持ち味で踊るのが見どころの3、4年生。ピリッと引き締まった空気感を自ら作り、立ち姿で魅せる5、6年生。

今年も一人ひとり成長のドラマがあります。是非、晴れ姿をご覧ください。

交通安全教室がありました

１０月８日(木)に富田林警察の方に来ていただいて交通安全教室が実施されました。警察の方からのお話のあとに、信号機や標識などが設置された運動場で、１～３年生は歩行訓練を、４～６年生は自転車の正しい乗り方を体験しました。子どもたちは交通ルールを守って、安全に行動することの大切さを学びました。





「能」のワークショップがありました

文化庁の事業の一環として、５、６年生を対象とした「能」のワークショップが１０月１５日(木)にありました。「瓦照苑(がしょうえん)」の先生方に来ていただき、能の動きや掛け声について、楽しく体験することができました。１２月の芸術鑑賞会でも能の舞台を見せていただける予定です。





【読み書きテスト（スクリーニング）の実施について】

富田林市の小学校では、毎年１、２年生を対象に国語の時間を使って読み書きの力をはかる時間を設けています。その結果について、それぞれの学校で分析し、学習指導に生かしていきます。また、必要に応じて保護者の皆様にも宿題や家庭学習の支援方法についてご協力のお願いをする場合がございます。
学校と家庭が連携して、子どもたちの読み書きの力を高めていけるよう進めていくことが大事だと考えています。今後とも保護者の皆様のご理解、ご協力よろしくお願いいたします。

